



2024年3月期・2025年3月期見通し

決算説明資料

カメイ株式会社

東証プライム 8037

2024年3月期 決算概要

01

KAMEI



6期連続の増益、売上高・営業利益ともに過去最高を更新

■ 前期比・期初予想を上回る増収増益を達成

売上高：国内自動車供給回復により販売台数が増加、自動車関連が好調。
堅調な需要と円安効果により海外・貿易も好調維持。前期比+3.8%の増収を達成。

営業利益：エネルギーは暖冬等の影響により収益低下、建設関連も鋼材価格高止まり・労務費上昇により大幅減益だが、自動車関連、海外・貿易でカバーし、結果として前期比+0.3%と増益確保。

■ 事業上のトピックス

次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」は、北海道・中国・九州エリアへ事業拠点を拡大。
2023年8月にNagatoshi Produce USA, LLC（米国・青果卸販売）の株式を取得。海外展開の更なる拡大とシナジー創出を図る。

■ 実質累進配当政策は堅持、好調な業績を反映して配当金は期初予想+8円の48円へ

2024年3月期業績ハイライト：期初予想上回り、今期も増収増益を達成



■ 売上高572,233百万円（前期比+3.8%）、営業利益15,671百万円（前期比+0.3%）

■ 当期純利益は初の100億円台を達成

(単位：百万円)	2023年3月期	構成比 (%)	2024年3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	金額差異	期初予想 (2023年5月)
売上高	551,245	100.0	572,233	100.0	+ 3.8	+ 20,988	551,000
売上総利益	84,428	15.3	88,111	15.4	+ 4.4	+ 3,683	—
販売費及び 一般管理費	68,808	12.5	72,439	12.7	+ 5.3	+ 3,631	—
営業利益	15,619	2.8	15,671	2.7	+ 0.3	+ 52	14,000
経常利益	16,668	3.0	17,053	3.0	+ 2.3	+ 385	15,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,562	1.6	10,111	1.8	+ 18.1	+ 1,549	9,200

各報告セグメントの動向：自動車関連、海外・貿易が業績に大きく寄与



(単位：百万円)		2023年3月期	2024年3月期	前期比	要因
合計	売上高	551,245	572,233	+20,988	自動車販売台数の回復、好調なレンタカー需要、海外・貿易の業績が大きく寄与。
	セグメント利益**	15,619	15,671	+52	
エネルギー	売上高	270,392	274,419	+4,027	構造的な石油製品需要の減少が続くが、産業用燃料は販売数量を維持。カーコーティング伸長。
	セグメント利益**	6,258	4,910	△1,348	
食料	売上高	35,738	34,927	△811	一定の収益改善が見られたものの、原材料高、円安による輸入コスト高により苦戦。
	セグメント利益**	△193	△107	+86	
建設関連	売上高	59,897	58,385	△1,512	鋼材価格高止まり、労務費上昇により利益率が大幅に悪化。
	セグメント利益**	2,720	1,282	△1,438	
自動車関連	売上高	64,030	76,410	+12,380	半導体不足緩和による国内自動車供給回復により販売台数増加。レンタカーも好調を維持。
	セグメント利益**	2,960	4,587	+1,627	
海外・貿易	売上高	79,504	83,763	+4,259	米国スーパーマーケットの新規出店、米国青果卸販売会社のM&Aが寄与し順調に業績推移。
	セグメント利益**	4,205	5,051	+846	
ペット関連	売上高	13,519	14,294	+775	ペット・園芸ともに、自社ブランド商品の開発強化・拡販が奏功。
	セグメント利益**	185	334	+149	
ファーマシー	売上高	18,121	19,358	+1,237	コロナ禍収束により処方箋応需枚数が回復、新規店舗も業績に寄与。
	セグメント利益**	113	378	+265	
その他*	売上高	10,042	10,673	+631	各事業堅調に推移。物流業ではコスト転嫁が一定程度進む。
	セグメント利益**	1,315	1,447	+132	
全社費用		△1,946	△2,212	△266	

* 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等 **セグメント利益又は損失は調整額控除前

■ 事業拡大（増収）と連動してB/Sも増加。商品及び製品、有形固定資産、投資その他の資産が増加

■ 有利子負債の縮減につとめ、長短借入金は約25億円減少。自己資本比率は46.5%

資産の部

(単位：百万円)	2024年3月末	前期末増減
流動資産	196,946	+ 11,044
現金及び預金	54,961	+ 9,881
受取手形、売掛金 及び契約資産	92,441	+ 822
商品及び製品	30,333	+ 1,561
固定資産	127,664	+ 6,011
有形固定資産	92,689	+ 2,415
無形固定資産	6,159	△217
投資その他の資産	28,814	+ 3,812
資産合計	324,610	+ 17,054

負債純資産の部

(単位：百万円)	2024年3月末	前期末増減
流動負債	132,394	+ 2,595
支払手形及び買掛金	58,551	+ 680
短期借入金	46,309	△1,390
固定負債	33,148	△308
長期借入金	7,183	△1,157
リース債務	10,389	+ 63
純資産	159,067	+ 14,768
株主資本	136,413	+ 8,633
その他の包括利益累計額	14,593	+ 5,298
負債純資産合計	324,610	+ 17,054

■ 資産効率性を高めて営業キャッシュ・フローが大きく増加し、投資や有利子負債返済の原資に活用

■ 現預金は期末に500億円超、次なる投資へ向けて活用する方針

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	38,883	42,967	+ 4,084	
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,652	25,035	+ 11,383	<ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益が前期比で増益 減価償却費及びのれん償却額が前期比で増加 等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,722	△11,663	△1,941	<ul style="list-style-type: none"> レンタル事業用車両など有形固定資産の取得 子会社株式の取得(Nagatoshi Produce) 等
フリー・キャッシュ・フロー	3,930	13,372	+ 9,442	<ul style="list-style-type: none"> 大幅な営業キャッシュ・フローの増加で、フリー・キャッシュ・フローは大きく増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,873	△6,495	△4,622	<ul style="list-style-type: none"> 短期借入金の減少 等
現金及び現金同等物の期末残高	42,967	50,864	+ 7,897	

2025年3月期 通期見通し

02

KAMEI



■ 報告セグメントの見通し

報告セグメント	評価とコメント	報告セグメント	評価とコメント
エネルギー	○ 構造的需要減も新規深耕開拓でカバーし堅調	海外・貿易	○ 新規出店・M&A等が今期も寄与、円安追い風続く
食料	△ 原材料・輸入コスト高は継続、厳しい環境続く	ペット関連	○ ペット・園芸ともに需要堅調
建設関連	○ 鋼材高・労務費の価格転嫁がある程度進む	ファーマシー	○ 処方箋前期並みに推移
自動車関連	△ レンタカー好調維持も、自動車販売は減速	その他	○ 物流での価格転嫁がある程度進み、今年も堅調

■ 為替の前提条件 1ドル = 150円（前期は 1ドル = 135円）

■ 原油価格の前提条件 ドバイ原油 = 90ドル/bbl（前期は 80ドル/bbl）

■ 配当額 56円（中間 28円 + 期末 28円、配当性向 19.8%）（予定）

■ 売上高 5,690億円（前期比△0.6%）で横ばい、営業利益 147億円（△6.2%）で減益見通し

■ 前期からの自動車販売スローダウンを概ね見込む

	2024年3月期	構成比 (%)	2025年3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	金額差異
(単位：百万円)						
売上高	572,233	100.0	569,000	100.0	△0.6%	△3,233
営業利益	15,671	2.7	14,700	2.6	△6.2%	△971
経常利益	17,053	3.0	16,000	2.8	△6.2%	△1,053
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,111	1.8	9,500	1.7	△6.0%	△611

		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (%)	要因
エネルギー	売上高	274,419	270,000	△1.6	構造的な需要減少トレンドは変わらずも、新規深耕開拓でカバー。激変緩和措置は当面継続か。
食料	売上高	34,927	35,000	+0.2	原材料高、円安による輸入コスト高は継続、厳しい環境が続く。
建設関連	売上高	58,385	58,500	+0.2	業界として鋼材高・労務費上昇の価格転嫁は進むと予想、一定の業績回復を見込む。
自動車関連	売上高	76,410	73,000	△4.5	前期自動車生産回復による販売台数増加も、反動による販売スローダウンを見込む。
海外・貿易	売上高	83,763	88,000	+5.1	新規出店・M&Aの効果が今期も業績に寄与、円安の後押しもあり順調に推移。
ペット関連	売上高	14,294	14,500	+1.4	ペット・園芸とも需要堅調。
ファーマシー	売上高	19,358	19,500	+0.7	処方箋応需枚数は今期も堅調。
その他*	売上高	10,673	10,500	△1.6	前期から大きな変動要因はなし。

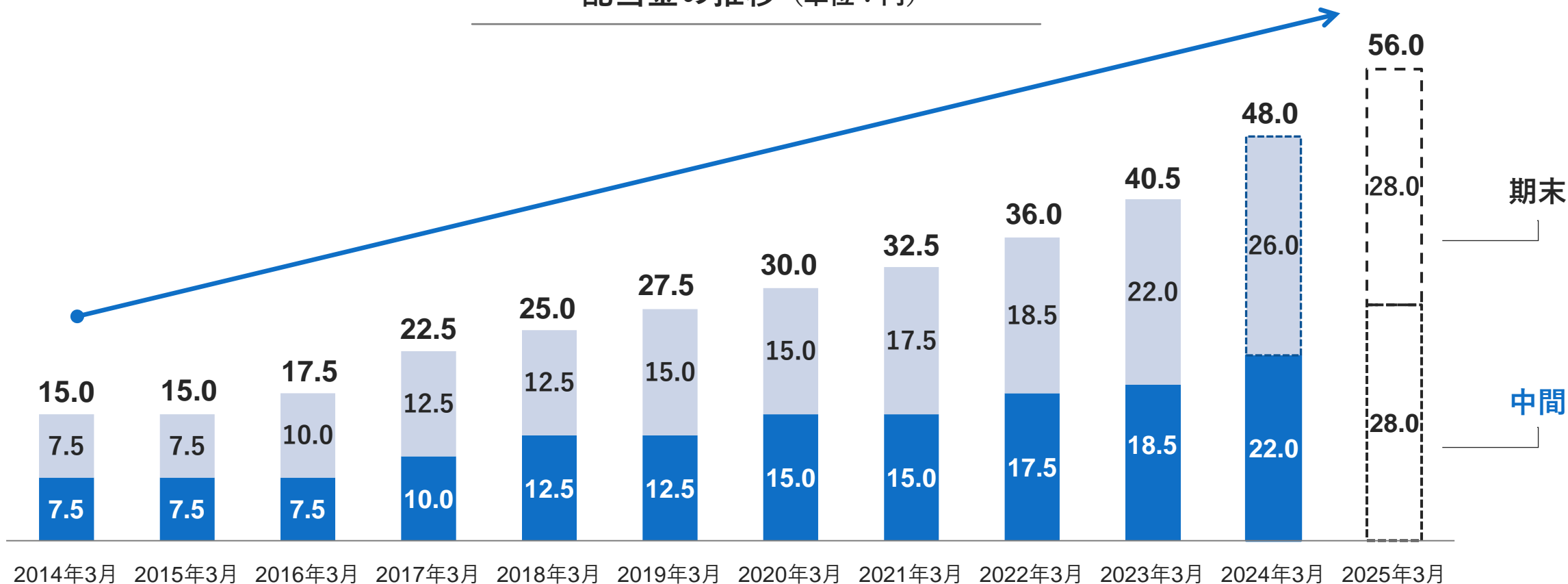
* 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等

株主還元：「実質的な累進配当政策」の実施と配当額の引き上げへ



- 実質的な累進配当政策（2025年3月期まで10期連続増配予定）
- 財務の健全性は高く、ネットD/Eレシオはマイナス（2024年3月期末）
- 資本効率性と安定配当を重視し、今期配当額を1株あたり56円に引き上げへ

配当金の推移（単位：円）



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



カメイ株式会社

2024年5月

東証プライム

8037

